

白山の火山活動解説資料（平成 21 年 1 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況

国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは、山頂部に噴気は認められませんでした。その他の状況にも特に異常はありませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

10 日及び 25 日に白山付近を震源とする白山付近の浅部を震源とする微小な地震がまとまって発生しました。

最大は 25 日 05 時 06 分に発生した M2.3（暫定値）の地震でした。

白山では、これまでも同様な場所で地震が多発しており、最近では 2008 年 9 月に同程度の地震活動があった。

なお、地震に伴って火山性微動の発生など火山活動に特段の変化はみられません。

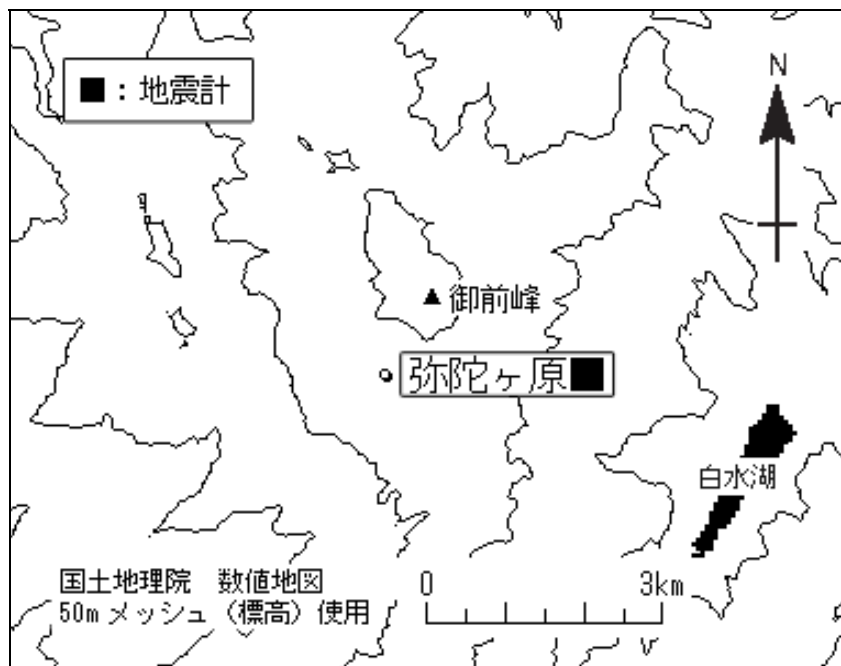


図 1 白山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 2 月分）は平成 21 年 3 月 6 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省金沢河川国道事務所、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものです（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

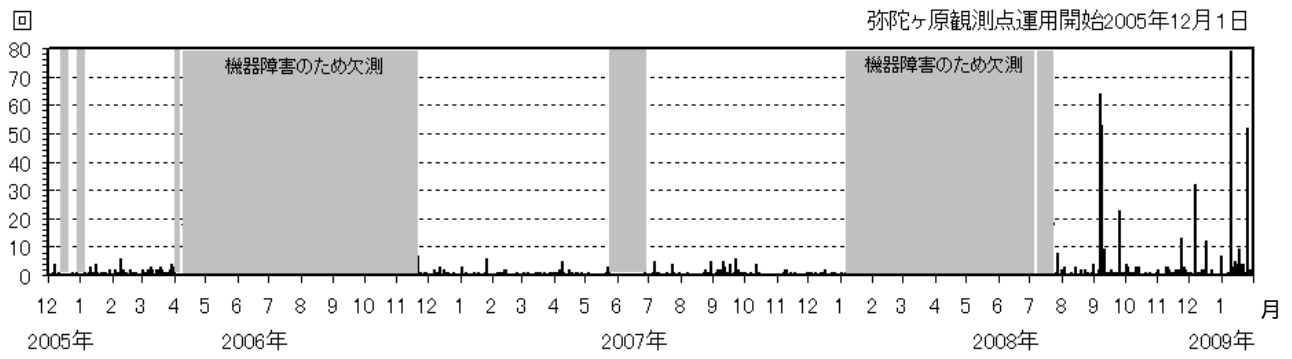


図 2 白山 日別地震回数（2005 年 12 月 1 日～2009 年 1 月 31 日）

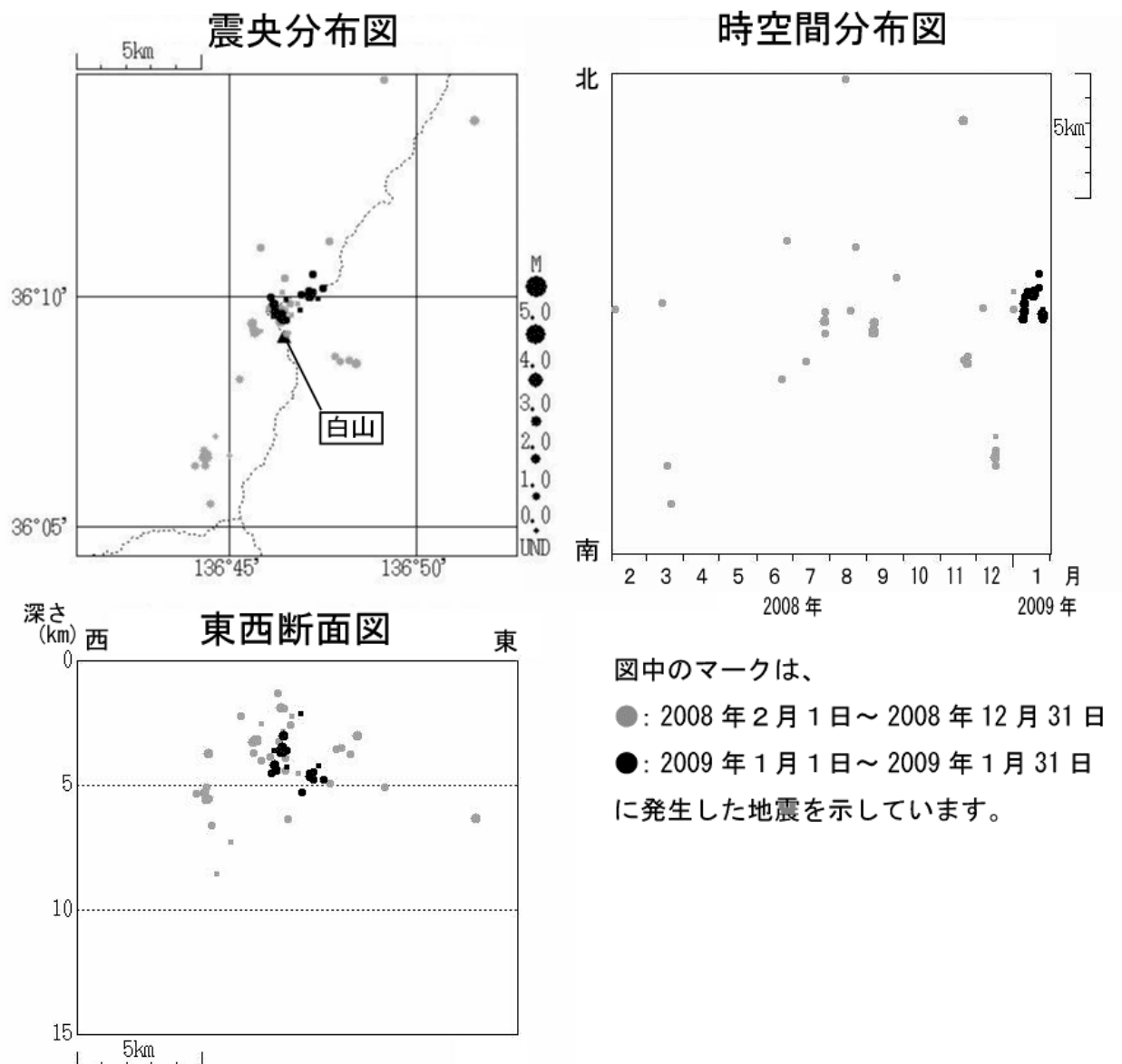


図 3 白山 震源分布図（2008 年 2 月 1 日～2009 年 1 月 31 日）

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。